

いちよう No.7

栃木市立藤岡小学校だより
平成25年 11 月11 日

放射線量 11/6
0.089 μ ms

芸術の秋…



秋も一段と深まりを見せ、校庭の銀杏も黄色く色づき始めました。子ども達の学習活動も、各学年とも様々な取り組みが見られ、実りの秋を実感しています。

さて、10月24日(木)に演劇鑑賞会が開かれました。ご承知のとおり、この演劇鑑賞会は、毎年実施されているもので、PTAの資源物回収の益金を利用していただいています。今年、「スーパードリームミュージカル OZ ～オズの魔法使い～」を上演さ

せていただきました。ミュージカルの実施は本校では初めてで、とても面白いものでした。というのも、1年生から6年生までが全員が楽しめる演劇というのはなかなか難しく、下学年と上学年と分けて、2部構成で実施したこともあります。

しかし、今年のミュージカルは、ストーリーが非常に分かりやすく、照明なども凝った演出になっていたため、80分の上演時間が短く感じられるほどでした。上演終了後の子ども達の感想も、どの学年も面白かった、楽しかったという言葉が多く聞かれ、計画を実施した担当教員も、ほっと胸を撫で下ろした事と思います。とにかく、生の歌声と凝った演出には、参観いただいた保護者の方や地域の方からも、面白かったと講評いただいた程でした。

では、毎年、ミュージカルなどの楽しい演劇を上演すればよいのではないかということになりますが、そればかりでは、子ども達の生の芸術に触れる機会が偏ってしまいます。昨年は、ミニオーケストラを上演しました。普段、CDや写真でしか、聞いたり見たりしない楽器の迫力ある生の音に触れることによって、子ども達の経験が広がっていくと思います。いろいろな芸術に触れさせることによって、豊かな心や一人ひとりの持つ感受性が育っていくのだと考えています。

これらの理由から、今後もいろいろな資料や情報を取り寄せて、幅広く実施していきたいと考えております。PTAの皆様や地域の皆様からご協力いただいた貴重な益金を今後も有効に活用していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

わたらせ風の子音楽祭…

11月8日(金)の午後に、藤岡文化会館で「わたらせ風の子音楽祭2013」が開催されました。この音楽祭もすっかりお馴染みになりましたが、藤岡地区の小中学校の代表が一堂に会して、音楽の授業や部活動などに練習した楽曲を発表して楽しむ催しです。各小学校からは6年生、中学校からは、太鼓と吹奏楽部の発表がありました。本校の6年生は、合奏で「シルクロードから」、合唱で「with You Smile」を発表しました。この二つの楽曲を発表するにあたり、2学期の始めから練習に取り組んできました。全員が音楽が得意なわけではないので、楽曲を仕上げるのはとても大変だったようで、昼休みも練習していた6年生もたくさんいました。本番では落ち着いて堂々と発表することができ、



素晴らしい演奏となりました。これでまた一つ、卒業に向けてよい思い出ができたようです。在校生には、音楽祭の朝、練習も兼ねて体育館で聞かせてくれました。6年生の立派な演奏に大きな拍手を送っていました。来年は、5年生の番です。6年生をよいお手本として、頑張ってもらいたいと思いました。演奏した曲はホームページでも聞くことができますので、よろしかったら聞いてみてください。

地域の方とのふれあい学習・・・



3年生と1年生が、アシストネットを活用して、地区の高齢者の皆様とふれあい学習を行いました。

10月22日(火)には、3年生がグランドゴルフとスポーツ輪投げ、11月7日(木)には、1年生がお手玉やコマ回しなどの昔遊びで交流しました。どちらの学年とも、子ども達は、大変楽しく充実した活動を行うことができました。この学習活動は、地域の方との交流を通して、自分達が地域の皆さんに見守られて育っていることや地域の一員であること

との気づき、そして、何よりもふれあう事の楽しさを通して、豊かな心を育てることを目的として実施しました。活動が終わった後の子ども達の感想では、楽しかった、またやりたい、親切に教えていただいたのでうれしかったなど、笑顔のあふれることばをたくさん聞くことができました。また、地域の方からも、明るい笑顔をたくさん見ることができて、元気をもらったなど、交流を楽しんでいたいただいたコメントをいただきました。また、控え室で休んでいる時に、3年生が銘々に「ありがとうございます」とお礼を言い現れ、感心していただきました。

お忙しい中でのお願い等で、地域の方には大変お骨折りをおかけいたしました。充実した活動をするのができ、本当にありがとうございました。



— コーヒータイム —

過日、東大の准教授で日光植物園の園長先生のお話を聞く機会がありました。その話の中で、とても興味深い話がありました。それは、太くて立派な杉の木を作るためには、風雨にさらさなくてはいけないということでした。昔は、間伐をすることにより、杉の木一本一本が、風に当たり、倒れてはいけないということで、太く遅しい杉に育ったが、今は、間伐が思うように進まないの、多くの杉が生えることにより、風に当たることがなくなり、ヒョロツとした杉になってしまうということでした。また、他の樹木も風に当たると、枝が折れてはならないと、枝の根元が太くなるということでした。樹木というのは、養分と時間があれば、太く丈夫になると思っていましたが、そうではなく、色々な刺激があつて、初めて太く遅しくなるのだということをお話いただきました。

なるほど、そうか！杉は杉で頑張ることが大切なのだと、太い杉の木に対する見方が変わりました。子どもを育てていく上でも、同じことが言えるのかなと、そんなことを思いながら話を聞いていました。

それともう一つ、スギ花粉は杉が成長して30年ぐらいたたないと花粉を付けないそうです。最近になって、花粉症が多くなったのは、戦後、たくさん植林した杉が、花粉をつけるようになったので、花粉の飛散する量が増えたということでした。私も子どもの頃は平気だったのに、35歳を過ぎて花粉症になったのは、そういうわけかと納得しました。樹木も大変なんだと感心させられたお話でした。

